



編集発行所 千990-2492 山形市鉄砲町一丁目15-64 山形県立山形西高等学校 嚶鳴同窓会 電話 023-641-3504



二千年を迎えて

会長 中原 えい子

二千年ミレニアムの年を迎えた。同窓会会長と云う大役をひきうけ一年を大過なく過ごす事が出来たのも、同窓生皆々様の温かい御協力の賜と心より感謝申し上げます。 二月末には嚶鳴会館三階和室に於て、卒業生二百七十七名の新しい同窓会会員を迎えました。年々フレッシュな会員をお迎えする事は、百年を過ぎた嚶鳴同窓会が蘇り永遠の命がながれてゆく標と喜びを覚えます。百周年記念事業

の為、前会長大宮先生の御努力と会員皆々様の格別なる御協力により予定以上の寄付金が集まりました。残金は後輩の為の奨学金にとの案もありましたが、奨学金として運用出来る程の金額もありませんので取敢えず表彰する事になりました。入学以来一貫して学業と部活動、校友会活動を両立させ、特に顕著な活躍をした生徒を先生より推薦して頂き同窓会入会式の席上で表彰致しました。はじめての今年是一名第一号の浅井恵子さんです。賞状と副賞として記念品に広辞苑を贈りました。 五月半ば平成十二年第一回の評議員会が嚶鳴会館でもたれました。十一年度会計決算十二年度予算会計監査報告を受け十二年度行事予定の協議が行われました。 母校への協力については、学校より生徒がよりよい環境で勉学が出来る様放課後自主学習をする為の一〇一教室と、嚶鳴会館事務室に冷房設備を整備する事の希望があり、同窓会・後援会・PTAの



ご挨拶

校長 奥山 武

嚶鳴同窓会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃から本校教育の充実発展のために、物心両面にわたる多大なご支援を賜わり、心から感謝申し上げます。 昨年度は、嚶鳴同窓会総会、東京支部総会にお招きを受け、多くの方々と親しく懇談させていただきました。若き時代に苦学した懐かしい思い出を胸に抱きながら、幾年経ても母校への熱い思いや期待を寄せてくださっていることがひしひしと伝わって参り、また、暖かい激励をいただき有り

難く思ったところです。 この度は、また、同窓会から、後輩への学習環境の整備にということで、多大なご支援をいただきました。本校の懸案であった、特別教室の一つに、生徒学習用として、冷房装置をすることにさせていただきます。 発揮しており、今春の卒業生も難関大学への合格者が増えるなど、健闘いたしました。 今年度の県高校総体では、テニス部がダブルスで優勝し、なぎなた部が個人戦で優勝・準優勝、水泳部が二種目に優勝し、それぞれ

三会に協力を依頼されました。出席の評議員の方々より快く賛同を頂き、早期に進められる事になり感謝申し上げます。 学校の前の西側の道路の幅が拡張される事になり、西の扉際に建つ資料館の石倉は移転される予定です。百周年の折百年史の編集の為、記念史部会の同窓生の会員の方々が苦勞して集められた大切な資料も沢山保管されております。移築に伴いその資料の整備や管理等にも又経費が必要になる事とあります。山形西高百年史は大変立派な本で自分の在学した頃の買だけなく、どの頁を開いても多くの資料から克明にそれぞれの時代を知る事が出来、百年の歴史の重みがいずれと伝ってまいります。 まだ数百冊の残りがありますので読まれた方は未だの方々に是非御勧め下さる様御願ひ致します。 六月二十五日には西高創立百二十年記念式典と、第四十二回校内合唱コンクールが山形県民会館大ホールで行われました。まだ入学して三ヶ月の一年生の初々しい歌声と堂々とした指揮に感心しました。三年生は素人の私にもわかる

響きのある歌声と、歌の内容にふさわしいドラマチックな表現力に感激して聞きほれました。西高の教育目標に、本校は嚶鳴の伝統のもとに培われた親睦友愛の精神を受け継ぎ、学力、体力の向上、徳性の涵養、情操の深化に努め、有為な人材を育成する、とあります。が単に目標として掲げられているだけでなく、立派に実行されている事を知らされました。教育関係の友人に「西高ではナイターと言う夜の課外授業を行い大学進学率をアップさせたがそのナイター制度が廃止されても進学率が低下しないのはさすが西高はえらい。」とおほめの言葉をうけ大変嬉しく思いました。生徒の努力はもとより指導下さる先生方の熱意に深く感謝申し上げます。近年では山形県内はもとより東北でもトップを争う進学率と聞いております。 二十世紀末の今日天変地異また人事に於ても良い事悪い事思ひもかけぬ事が次々とおこります。 どうぞ同窓会会員の皆様には、同窓会の為御意見御助言を賜り、御協力を下さいます様心より御願ひいたします。

に県代表として、全国高校総合文化祭に、書道部門、放送部門、弁論部門で出場することになっております。また、演劇部、華道部、音楽部、美術部等が定期公演演奏会等を開催し、多くの方々から好評を得ております。

なお、本校は生徒急増期の昭和五十八年以来、一学年七学級となっており、平成十四年の新入生から、六学級に減らされる予定です。級に減らされるよう、また、同窓生の皆様の母校に対する誇りや愛着に応えられるような学校づくり、教職員、生徒一丸となって努力を傾注してまいりますので、更なるご指導ご支援を賜りますよう御願ひ申し上げます。

ロビーはたちまち華やいだ雰囲気になりました。 大津悦子さん、大久保由紀子さんの司会で、総会が開始されました。今年度、新しく同窓会会長に選ばれた中原えい子会長、奥山武校長のご挨拶に続き、永年同窓会会長としてご尽力くださった大宮文子前会長に感謝状と記念品が贈呈されました。

情熱のフラメンコに魅せられて

平成11年度 嚶鳴同窓会総会



議事は堤佳子副会長が議長となり、厳粛に滞りなく進行されました。 祝賀式典に移り、ご来賓の方々を代表して、渡部康夫先生と神尾ひさ東京支部長のご挨拶をいただきました。渡部先生の、若々しい心とジェントルマンの身だしなみは、担任していただいた頃とお変わりがなく、当時の出来事や懐かされる方々のお名前をお呼びしました。お一人おひとり女学生のような張りのあるお声でお返事をなさってその場にお立ちになりました。皆様のお顔は、嚶鳴同窓生であることの喜びと誇りに輝いていらして、会場からは割れんばかりの祝福の拍手が送られました。 米寿の皆様は、古澤せい様のご挨拶に続いて「校歌・日嗣の皇子」「赤とんぼ」を無伴奏で歌われました。澄んだお声が響き渡り、自然に会場の皆様の歌声も加わり、素敵な雰囲気になりました。 喜寿の皆様を代表して、現役の幼稚園園長として活躍中の佐藤フサ様のご挨拶をしてくださいました。戦中・戦後の激動の時代を過ごされた様子をさらりと、しかも色鮮やかに話してくださいました。私たちに今生きる事の喜びを伝えてくださいました。ノ一原稿でこやかに話してくださいました。アトラクションは、同窓生の富樫昭子さんと、昭子フラメンコスタジオの皆さんによるフラメンコ舞踊でお楽しみいただきました。ギターのもの悲しくも、大地をゆるらす生命の鼓動が伝わるフラメンコのリズム、色鮮やかな衣装に身を包んでの激しく情熱的な踊りが会場を魅了しました。 懐かしい友との語らいはとどまるところが無いようでした。 いよいよ校歌斉唱になりました。私たちが当番学年も先輩の方々と一緒に練習をしたいと思います。再会を期して全員の歌声が一つになり、感動の中で総会は終了しました。 当番学年(36・37卒)の私たちは、旧交を温めながら準備を進めてまいりました。同窓会役員の皆様、栗野先生をはじめ事務局の先生方のご理解と協力をいただき、総会を終えることができました。 深く感謝申し上げます。 (昭和三十六年西高卒) 沼澤 千佳子

雨の日の午後、老人養護施設メ
ルヘンを過ぎて少し走ったところ
の十字路を左に曲がって、「ここじ
やないかしら？」同行のドライバ
ーNさんが車を止めた。私が
降りて、手入れが行き届いた庭を
右に大きいお屋敷の表札を見て、
パツチリノ電話でお聞きした先生
のお宅に着いたのです。

昭和四十年から十八年間、県立
玄関の戸を開けて声をかけると
五十年ぶりの高橋富一郎先生が出
迎えてくださいました。白髪も殆
と年齢が離れてみえていたように
思いました。

西高で一番印象に残っているこ
とをお伺いしたところ「焼け残っ
た体育館を六つに区切った教室で
授業したことがなあ。」と想い出は
やはり校舎焼失で苦勞した時代の
ようでした。

因心師を訪ねて

健康で喜寿を迎えられた 高橋富一郎先生



どなく、私たちがお習いた頃と
あまり変わっていらつしやらないの
に驚きました。上品でやさしい顔
だちの奥様も出ていらつしやって
話のお相手をしてくださいました。

西高には昭和二十二年から三十
九年までの十七年間、在職され、
ご自宅から山辺駅まで二十五分歩
き車で通勤なさったそうです。
私たちが生物を教えて頂いたのは
先生が二十五・六歳ぐらいだった
と聞いて、またびっくり、やはり
生徒の目からは先生として、もっ

広で泌尿器科の医者をしているん
だが向うが住み良くて、こちらに
帰って来ないことになったのよ。」
と。また娘さんは、嚶鳴同窓会の
会員で、西高卒業後、共立女子大
に進まれ、フランス菓子科を専攻、
一年半フランスに留学・現在、嫁
がれてつくば市に住んでおり地区
の人々の指導に当たっているとい
とです。

そこで冬は娘さんのところで、
暖かい季節は息子さんのところで
すごしては、と言われているのだ
そうです。でもご夫妻は自立され
ているうちは大寺の旧家でお暮ら
しになるとのことですが、宅地二
反歩、畑三反歩、築二百五十年の
家屋を持つ十五代目の先生は大へ
んなことだとお察し致しました。

奥様がお茶うけに出してください
った大粒の栗の渋皮煮(屋敷内の
栗で上手に加工、保存されたもの)
の美味しかったこと、畑でとれた
ての苺も大へん結構でした。この
ように新鮮な自然食品を多くとら
れているので先生は病氣もなさら
ず健康を保たれているのだと実感
致しました。

公務から解放された後の先生は
大寺地区の委員長に推され、現在
は山辺町福祉協議会の推進委員と
して活躍されておりです。

「ケアハウス・メルヘン創設当
初から理事として五年になるが、
診療所があるので住民は喜んで利
用している。あの夢のあるデザイ
ンは理事長がドイツ・ニールランドを
参考にして考案したものだ。」とも
語ってくださいました。

さて先生の息子さんは？とお聞
きすると、「北海道大学を出て、帯

「嚶鳴」精神のもとさらなる飛躍を胸に

平成十二年度嚶鳴同窓会東京支部総会

平成十二年度の嚶鳴同窓会東京
支部総会は、東の間の梅雨晴れの
七月二日(日)東京プリンスホテ
ル プロビデンスホールで開催さ
れました。三十度を超す暑い日で
したが、ご来賓の皆様をはじめ総
数二百七十余名のご参加をいただ
きました。副支部長の開会の言葉
にはじまり、校歌斉唱、黙禱、そ
して神尾支部長の挨拶は、ご来賓
の紹介につき、今年度をもって
ご勇退なさり、遠藤副支部長へ引
き継がれる旨のお話がありました。
東京支部長として平成三年から、
十年間もの長きにわたり、嚶鳴同
窓会東京支部を支え、いろいろご
尽力下さったことに、支部会員一
同心より感謝申し上げますと共に、
更なるご指導をお願いいたします。
続いて学期末のお忙しい中おいで
いただいた、奥山校長先生よりご
祝辞をいただきました。現在の西
高の様子として、学級数の増減の
こと、国立大学をはじめ有名私立
大学への進学がますます伸びてい
ること、クラブ活動は、書道、演
劇など、又、サッカー部も五十名
の部員を擁していることなど、
多岐にわたる活動の様子は、知育

の胸を舟形にくりぬいた簡単な形
ですが、音域は二オクターブ半あ
り、絹糸を象牙の爪ではじく澄ん
だ音色は、長唄風、小唄風な江戸
の粋を奏でるということ、普段
私どもがなかなか耳にすることの
できない、幽玄な調べを堪能させ
ていただいたひとときでした。

続いて嚶鳴女声合唱団の有志の
方々による演奏は、いつもながら
の格調高い声に、うっとりとし
清々しい心になりました。エン
ディングは、恒例のみんなのうた
で、参加者全員が声高らかに合唱
し、互いに友好を深め、しみじみ
としたなかに、名残を惜しみつつ
閉会となりました。

同窓生皆様の母校に寄せる熱い
想いが、このように長く会を存続
させていることを改めて感じると
ともに、「嚶鳴」という言葉に象徴
されるように、同窓生として信頼
し合い、励まし合って、豊かな人
生を送りたいと、再会を念じつつ
皆様とお別れいたしました。

(昭和三十四年西高卒)
石田 京子

平成12年度 総会のお知らせ

とき：11月11日(土) 午前10:00~
ところ：オーナマホテル (山形市)
会費：5,000円

山形県立山形西高等学校 嚶鳴同窓会総会



ご冥福を
お祈り申し上げます

- #### 後輩たちの活躍
- 全国大会出場
 - 放送部 七月
 - NHK全国放送テスト(東京)
 - なぎなた部 八月
 - 全国高校総合体育大会(岐阜)
 - テニス部 八月
 - 全国高校総合体育大会(岐阜)
 - 水泳部 八月
 - 全国高校総合体育大会(岐阜)
 - 書道部 八月
 - 全国高校総合文化祭(静岡)
 - 弁論 八月
 - 全国高校総合文化祭(静岡)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|--------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|--------------|
| 石川 清秀 (旧職員) | 谷口 ミヨ (旧職員) | 高橋 元四郎 (旧職員) | 秋葉 正雄 (旧職員) | 石井 達雄 (旧職員) | 佐藤 とよ子 (昭6高女) | 打田 ヨシ (昭5高女) | 今野 弥生 (昭29南高) | 会津 コウ (大8高女) | 赤間 敏子 (昭18高女) | 渡辺 澄子 (昭19高女) | 加川 芳子 (昭22高女) | 宮本 博子 (昭23高女) | 荒木 和子 (昭14高女) | 鈴木 千代恵 (昭14高女) | 朝倉 カツ (昭7高女) | 内海 千栄子 (昭7高女) | 伊谷 礼子 (昭22高女) | 湯口 とき (昭10高女) | 川股 美智子 (昭21高女) | 武田 澄子 (昭31西高) | 末野 テル (昭6高女) | 森谷 敏子 (昭16高女) | 山口 和子 (昭16高女) | 吉田 公子 (昭23高女) | 高橋 七重 (昭23高女) | 鳥居 沼はな (大13女師本科) | 高瀬 ヤス (昭8高女) | 林 五十嵐 (昭11高女) | 後藤 ヨシ (昭7高女) | 飯野 百栄 (昭6高女) | 桐村 慶子 (昭16高女) | 市村 いつ (昭16高女) | 中山 修子 (昭9高女) | 伊藤 修子 (昭33西高) | 大沼 ふじ (昭17高女) | 谷口 ミヨ (昭43高女) | 中村 孝子 (昭17高女) | 渡辺 きよ (昭11高女) | 鈴木 ぶん (昭5女師二部) | 山内 勝子 (昭10高女) | 小山 美穂 (昭6西高) | 玉田 美穂 (昭4西高) | 清野 栄子 (昭27南高) | 西川 うめ (昭2高女) | 丹野 コト (昭14高女) | 幸野 香澄 (昭5高女) | 津川 重子 (昭17高女) | 伊藤 和子 (昭34西高) | 奥山 ひさ (昭11高女) | 小嶋 ツネ (昭12高女) | 阿部 玲子 (昭29南高) | 相馬 弘子 (昭18高女) | 真田 タカ (昭12高女) | 佐々木 悦 (昭23高女) | 矢作 チヨ (昭15女師一部) | 角田 茂子 (昭21高女) | 後藤 けい子 (昭27南高) | 後藤 けい子 (昭27南高) | 福田 フミ (昭5高女) |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|--------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|--------------|

昭和三十四年卒みよし会 還暦を迎えて

中村 郁

いつの間にか年月を経て三十四年卒（西五回生）の私達が還暦を迎え、八ヶ月前に予告を発信して、五月十九日ホテル古瀬一泊の還暦を祝う会を開催致しました。

青葉薫る五月晴れの日、還暦なんて信じられない、だけど事実だから認めざるを得ないという六十八名の集まりとなりました。卒後初めてお会いする方もあり、遠方からも大勢足を伸ばしてくださいまして、まるでタイムカプセルから出たかのように女学生気分が溢れ、賑やかでした。

青春の三年間を同じ学び舎で過ごした大きな絆は、見栄も奢りも

なく、ただただ元気で再会できたことに感謝した一夜でございます。卒後の四十二年間を思い返せば、いろいろなことがあった筈なのに、まるで一夢であったかのようないきさしたのでございます。祝詞を上げていただき神前に頭

東大手門、夏の花火大会、秋の日本一大鍋の芋煮会、山寺、冬の蔵王等々、久方振りに郷里の土を踏んだ、級友への歓迎の気持ちでした。お世話になりました恩師のこと、級友のこと、勉強のこと、遊び、クラブ活動や汽通のこと、そして

する神尾智子さんより会を作った動機や介護問題にふれた話を伺うことが出来ました。誰しも避けて通れない老後、今、正に親の介護に当っておられる方もあって興味深く耳を傾けました。

わがクラス会



てスカート丈の今昔、等々、尽きない話に様々な花を咲かせ、歌声と笑いの途切れない楽しい数時間となりました。

最後に、今年四月から介護保険制度が始まりましたが、NPO法人となった「わたげの会」を主宰

間であることに心を満たし、朝の顔は皆さわやかでした。還暦という人生の大きな節目を皆で乗り越えて、これからの新しい一歩一歩を大切に踏みしめながら歩いて行こうと誓い合せて散会となりました。

同窓生からのお便り



昔話は今話

昭和33年卒 松尾 敦子

山形弁で昔話を語っています。私の好きな昔話に「貧乏神と福の神」という話があります。もう、二百回は語りましたでしょうか。

昔、ある村に、貧乏な若い夫婦がいた。二人は仲良く稼いだ。ある年越しの晩のこと、天井裏で泣き声がする。見ると、汚い爺さんが、俺は貧乏神だが、二人があ

まり稼ぐもので福の神と入れ替りに出ていかななくてはならないと、また泣く。主は、今迄通り一緒に住んでくれよと言って、貧乏神の望み通りに、大きな鮭を腹いっぱい食べさせる。やがて福の神がやって来て争いになるのだが、若夫婦の応援もあって、貧乏神は福の神を投げ飛ばしてしまふ。そして、福の神が忘れていった打ち出の小槌で、米だの味噌だの家の倉だの、出たも出た。夢みてえだど若夫婦がひよいら貧乏神を見ると、何と、痩せこけていた貧乏神が福々しい福の神様になった。

粗筋は大体このようものです。私は、松谷みよ子の再話作品を、困り果ての語り口にして語らせていただいたりしているのですが、もったいなくなった昔話は、山形の最上地方に伝わる「貧乏神」という話です。この貧乏神が福の神に変わるとい話は、全国的にもめずらしい話といわれていますが、最上地方は昔からしばしば冷害による凶作に見舞われ、たくさん餓死者を出したといわれます。わが爺さんえ売らなければならなかったとか。そういう風土だからこそ、いつかはきつと、と願いを込めて語り継がれ

てきたのでしょうか。先日のライブの後でした。ある方が「貧乏神の話、あれ、いい話ですわね、頑張れば報われる世界、心に染み入りました。頑張った先がストラなんて」とおっしゃったのです。この時は、昔話は今話だと改めて思いました。聞き手の心を叩き、生きる勇気が湧くような、そんな語りができればと、願う毎日です。



みなさんの優しさに 『アイ・ラヴ・ユー』

昭和54年卒 岡崎由紀子

大学卒業後、しばらく一般企業に勤めていたが、ここ十年ほどはテレビドラマを中心に、フリーの

脚本家として仕事をしている。ずっと東京に住んでいるので同窓会も縁がなく、西高時代の同級生の中には、テレビで私の名前を見つけても、「オカザキと同じ名前の人か書いてある」と思っていた人もいたようだ。それが今年になって、思いがけず懐かしい友人達に再会する機会ができた。

私が原作小説を書き、脚本も書いた、ろう者を主役にした映画「アイ・ラヴ・ユー」が、三月十一日に山形県民会館で上映されることになり、私が舞台挨拶を務めることになったのだ。更に、上映会前の二月二十七日には、山形県手話サークル連絡協議会の皆さんの招きで、河北町のサトハチべに花で講演会も行うことになった。

それらが、山形のテレビや新聞で報道されると同時に、東京の我が家に、山形からたくさん電話や手紙が送られてくるようになった。そしてその中には、西高卒業以来、実に二十年ぶりの、同級生達からの連絡もあったのである。

講演会と上映会当日は、更に多くの旧友達が、会場にわざわざ足を運んでくれ、また楽屋には、抱えきれないほどのお花をいただいた。



皆様ご承知のように、私達の母校は平成10年に創立百周年を迎えました。そして記念事業の一環として記念史「山形西高等学校百年史」を発刊いたしました。このことは本会報第25号（平成11年）でお知らせしましたが、たくさんの方からご購読をいただき絶賛を博しましたこと、心から嬉しく思っております。

この「百年史」は、母校の旧職員でいらっしゃる日野顕正氏・大塚浩介氏・鈴木實氏のご執筆と、前田春治氏の装丁によって完成されました。ページをめくってみると、母校が明治31年に県内初の女学校「山形市高等女学校」として出発してから、百周年を迎えるに至るまでの歴史が、いろいろな角度からドラマチックに書かれていて、読む者に母校の輝かしい伝統の由来を分からせ、大きな感動を湧き起こしてくれそうです。

それとその筈、この「百年史」は、三人の先生の真摯な資料集めに裏付けされた執筆だからこそなのです。ご存じのように母校は焼失や移転等によって、貴重な資料が散逸してしまっていました。辛うじて残ったものが現在母校の敷地内にある石蔵の資料館に収められています。執筆された先生方は、この資料館に足繁く通われて、収蔵されている資料に目を通されたわけですが、もれ承るところによると、執筆者は資料館に入ると先ず、戦争中に学徒動員で川崎の工場で犠牲となつた六名の方々の写真にお参りしてから、仕事にかかれたということでした。



執筆者は資料館で教務日誌や学校要覧等を丹念にご覧になったことはいままでもないことですが、その他に明治時代からの校友会誌「嚶鳴」をも資料として活用されたとお聞きしています。散逸した資料を補うために、足掛け三年にわたって、旧職員や同窓生からきめ細かな聞き取り調査を行ない、且つ座談会なども開いて資料を集められました。執筆者の「百年史」

にかけるこういうご熱意とご努力は言葉で言い尽くすことができませぬ。また、「百年史」の編集と資料集めについては、創立百周年記念事業実行委員会の中に構成された、記念史部会の活躍も見逃すことはできません。この部会のメンバーは、県立図書館に通って、山形新聞のマイクロフィルム500巻に目を通し、丹念に母校に関する記事を探して、それをコピーし執筆者に提供されました。多くのマイクロフィルムをリーダーで読みとることの困難な作業に挑戦された熱意に、敬意を表します。

「百年史」の購入方法

1. 山形市高等女学校の創設校の発足
 2. 女子師範学校と県立高等女学校
 3. 大正時代の学園
 4. 昭和前期の学園
- 購入希望の方は、卒業学年・氏名・住所・電話番号を明記の上、葉書で直接学校まで申し込んで下さい。折り返し郵便振り込み用紙を送ります。記念史代金(六千円)を振り込んで下さい。学校に届いた分から宅配便で送ります。尚、手数料、送料とも同窓会で負担します。多数申し込んで下さい。学校の近くにお住まいの方は、直接学校事務室においていただけば購入できます。
- 既に購入している方は、クラス会などで集まる機会があれば、ぜひ記念史を皆さんに紹介してください。よろしくお願い致します。
- 玉田 アサ

平成11年度経常費決算

1 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減(△), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

3 差引残高

総収入 総支出 差引残高
2,161,541円 - 1,964,473円 = 197,068円

平成12年度経常費予算

1 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

平成11年度嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部

(単位:円)

- 1. 前年度繰り越し金 10,386,221
2. 前年度経常費残金 347,805
3. 総会残金 385,597
4. 総会お祝い 615,000
5. バッジ立替分 75,000
6. 100周年記念事業残金(母校より) 1,620,979
7. 利子 定期預金利息 13,163
普通預金利息 2,136

2 支出の部

- 1. 総会補助 100,000
2. 前会長送別会補助 88,655
3. 学校紹介ビデオ制作 500,000
4. 記念品(牛置物) 70,875
5. 記念品(風呂敷) 236,000
6. 諸費(餞別、謝礼) 40,000

3 差し引き残高

13,443,901 - 1,035,530 = 12,408,371

校内理事 高藤恵理子
校外理事 鈴木裕子
中村 郁
松浦 英子
鈴木 眞
鈴木 眞
玉田 アサ
酒井 長岡
青木 孝子
酒井 玲子
青木 智子

編集後記
今年もお陰様で滞りなく発行に致りました。少しでも多くの会員に読んでもらいたくは、変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

みなさまのお便りを
「同窓生からの便り」のコーナーにお気軽に近況報告のお手紙を書いていただきたくお願い申し上げます。年一回八月のみの発行ですが、頂戴したお便りは掲載させていただきます。
便箋に書いて下さっても構いませんが、できれば一行十五字程度で五十行から六十行の間で収めていただくと助かります。卒業年度「電話番号」をご記入の上、左記までお送り下さい。
〒990-1202 山形市鉄砲町1-15-64
山形西高嚶鳴同窓会
会報「同窓生からの便り」コーナー

平成11年度会務報告

- 平成11年 5月6日(木) 平成10年度会計監査(校長室)
5月13日(木) 第1回評議員会
6月上旬 会報発行準備
6月25日(金) 創立記念日・校内合唱コンクール
7月11日(日) 東京支部総会(東京プリンスホテル)
8月11日(水) 第2回評議員会・クラス幹事会
11月14日(日) 同窓会総会(オーヌマホテル)
平成12年 2月28日(月) 同窓会入会式

平成11年度 維持会費納入状況

1. 平成11年度(1999年4月~2000年3月)に納入されたもの

平成10年度(1998年度)以前分

Table with 3 columns: 学年, 学号, 氏名. Rows include 南高 S29, 西高 S37, S44, S45, S49, S51, S56, 西高 S27, S28, S29, S30, S31, S32, 南高 S27, S34, S35, S36, S37, S38, S39, S40, S42, S43, S45, S49, S51, S56, S61.

平成11年度(1999年度)分

Table with 3 columns: 学年, 学号, 氏名. Rows include 女師 S16, S17, S18, 高女 S16, S17, S18, S19, S20, S21, S22, S23, S26, S27, S34, S35, S36, S37, S38, S39, S40, S42, S43, S45, S49, S51, S56, S61.

<1999年4月~2000年3月納入分 延192クラス分 574,000円>

2. 平成10年以前に平成11年度分が納入されているクラス(納入者氏名省略)

Table with 3 columns: 学年, 学号, 氏名. Rows include 高女 S17, S18, 南高 S29, 西高 S33, S47, S48, S49, S50, S55, H4, H5, H6, H7, H8, H9, H10, H11.

嚶鳴同窓会評議員

Table with 3 columns: 氏名, 学年, 学年. Rows include 相澤 栄, 大宮 文子, 奥山 武, 中原 えい子, 堤 佳子, 鈴木 公子, 神尾 ひさ, 古沢 初枝, 中村 チエ, 柏原 一子, 赤間 三喜子, 小林 和子, 小稲 村ハナ子, 玉田 アサ, 粕川 タカ子, 鈴木 貞, 小松 テル子, 安藤 朋子, 菅野 節子, 平田 洋子, 佐藤 伶子, 松浦 英子, 片桐 ユキ子, 山田 勝子, 中村 郁, 鈴木 邦子, 長岡 玲子, 石川 博子, 武田 美津子, 菅野 ふみ, 酒井 孝子, 井口 登美子, 鈴木 よし子, 清野 和子, 青柳 妙子, 青木 智子, 富樫 由美子, 榎 森 房, 金谷 睦子, 評議員 昭30, 昭31, 昭32, 昭33, 昭34, 昭35, 昭36, 昭38, 昭39, 昭40, 昭41, 昭42, 昭43, 昭44, 昭45, 昭46, 昭57, 昭4, 昭25, 西高1, 西高2, 西高3, 西高4, 西高5, 西高6, 西高7, 西高9, 西高10, 西高11, 西高12, 西高13, 西高14, 西高15, 西高16, 西高17, 西高8, 高女27, 四高2.